

交流によるまちづくりを推進 ～国内交流と国際交流～

■問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32)8887

なぜ交流？

市では、まちづくりの基本的なルールを定めた自治基本条例に基づき、国内交流と国際交流によるまちづくりを推進しています。同条例36条では、歴史や文化を共有する国内の市町村と交流し、歴史や文化を大切にすまちづくりを推進するとされています。また、37条では、国際交流の文化を大切に、市民の国際交流活動の支援に努めるとされています。



讃岐国分寺跡にて

香川県高松市との交流

交流のきっかけ

市が発足する前の平成13年当時、栃木県と香川県に全国で二つだけ「国分寺」を冠する町がありました。その縁で交流が始まりました。

市町村合併とその後の交流

両国分寺町は偶然にも同じ日の平成18年1月10日、それぞれ下野市と高松市として合併しました。合併後も毎年小学生を中心とした交流が続き、平成25年6月には、下野市と高松市との間で歴史文化交流協定と災害時相互支援協定が締結されました。

今年の小学生交流



海の幸を堪能しながらの交流会

8月7日から3日間、小学6年生20名の親善交流団（団長 中村精一国内交流協会事務局長）が高松市に派遣されました。同市の小学生との発表交流、讃岐国分寺跡見学、讃岐国分寺交流協会による地引網体験などで、讃岐国分寺とその周辺の歴史風土への理解を深めました。

また、8月21日、高松市の讃岐国分寺小学生交流団24名が下野市にお越しになりました。一行には、市内の農産物をふんだんに使った夏野菜カレーやかんぴょうの卵とじなどで下野の夏を味わってもらいました。その後、両市の子どもたちは、ふるさとかるた取りなどで交流を深めました。史跡や道の駅にも一行をご案内し、本市の魅力にふれていただきました。両市の子どもたちの友情の輪が広がり、両市の絆をさらに深めることができた交流団相互派遣でした。

団員の感想は・・・

- ・地引網で採った魚を頂き、新鮮でとても美味しかったです。
- ・下野の料理をととても美味しいと言ってくれて嬉しかったです！
- ・初めての子とすぐに友達になる力が身につきました！
- ・この体験で自分に自信をもつ大切さが分かり、成長しました。
- ・お別れ会で泣きそうになったけど、笑ってお別れしました。
- ・高松の子と交流できたことは忘れられない思い出です。



地引網体験

国内交流協会会員募集中！

市国内交流協会は、平成22年7月に設立されました。市民を主体とした交流を推進し、相互理解と友情を深め、地域間の友好親善を図ることを目的としています。国内交流に興味のある方ならどなたでも会員になれます。皆さまのご入会をお待ちしています。

■年会費

・個人会員 1口 1,000円 ・法人会員 1口 3,000円 ・団体会員 1口 5,000円

■申し込み・問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32)8887